「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

http://www.kato-denki.com

内容をご熟読ください。

PUT THE STING ON CRIME

KATO-DENKI has provided HORNET® Auto Security customers with first class security since 1993.
Although car crimes will always exist, rest easier knowing you're protected.

717M	718M	719M

お願い
本説明書には車載物盗難保険及び見舞金制度についての記載がございますが、2009年12月31日を持って終了いたしました。
ご了承ください。

KATO-DENKI

取り付けには専門の技術が必要です。

はじめに

この度はホーネットMシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
本書に記した注意事項は、ホーネットを安全かつ正しくご使用していただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。
取り付けが完了しましたら、ご使用の前に再度本書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。
本書はなくさないよう、大切に保管しておいてください。

●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、ホーネットカスタマーセンターまでご連絡ください。
●乱丁、落丁はお取り替えいたします。
●本書に掲載されている内容は2002年5月1日現在のものです。

目次

お取り扱い上の注意

ホーネットをご利用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

危険　取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

警告　取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

注意　取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。

禁止　禁止行為を表す記号です。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

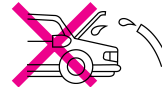
ヒント　機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明しています。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明しています。

強制・制約・指示等を表す記号です。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上のご注意

警告

●メインユニットを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。
ショートをし、感電や機器が故障する可能性があります。

●リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。
ホーネットが解除してしまったり、誤って電池を飲み込むなど事故の恐れがあります。

●ホーネットメインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行なってください。また、誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障等が発生しても弊社では責任を一切負いかねます。

知識のない方が取り付けを行なうと車両、ホーネットの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

●ホーネット全製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。

製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する可能性があります。また、分解および改造変更を行なった製品の保証は一切しておりません。

使用上のご注意

本製品をご利用の前に必ず本説明書をご熟読の上、正しくお使いください。
ご不明な点がありましたら、取り付けあるいはご使用前にお問い合わせください。

(1) 適応車種限定品です

取付可能な車種は、下記条件を全て満たしている車種に限定されています。

危険

●国産車限定
日本国内メーカーの車両に対応しています。
並行輸入車、外国車への取り付けサポートは一切行なっておりません。

●DC12V車両専用
24Vバッテリーを使用している24V車には装着できません。

（2）リモコンの取り扱いに関するご注意

注意

●リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
●水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。
また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
●持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
●リモコン電池確認ランプが薄暗くなったら電池が消耗しています。
早めに電池交換をしてください。
●リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換などは一切いたしておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。

（3）使用方法についてのご注意

注意

●テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。
弊社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。

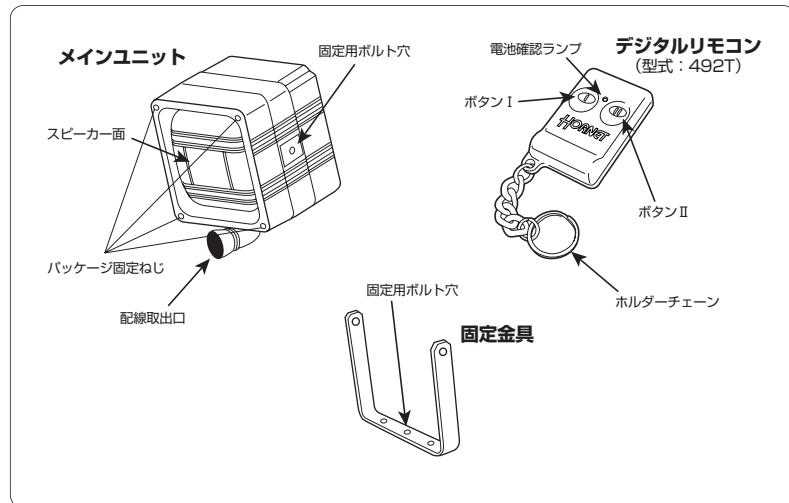
●本製品の警告音、サイレン音は、防犯上非常に効果的な128dBで発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感度にてご利用ください。
●何らかの理由で、リモコンのスイッチが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（サイレン音）が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。

警報が鳴っている最中にリモコン操作を行なうとハイセキュリティ解除機能（P.22参照）が働きますので再度リモコンを押してホーネットを解除してください。

●本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
●本製品は完全防水性ではないため内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
●本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。

必ずお読みください

●ホーネット内蔵の2段階衝撃センサーは取り付ける位置によって感度が大きく変わります。
また、周囲の温度変化により2段階衝撃センサーの感度が変化します。
●2段階衝撃センサーが反応し、警告音またはサイレン音が発報している間は、内蔵の電流センサーによるサイレン発報はしません。ドア開けに対応させるにはドアトリガー（緑）線の配線が必要です。
●本製品の動作の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても弊社では責任は一切負いかねますのでご了承ください。
●弊社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行なっておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
●ホーネットはアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重伝送通信線への接続はできません。
装着をした場合はホーネットのみならず車両の機器を破損する可能性があります。
●車種によりホーネット製品の接続が不可能な場合があります。

各部の名称

717M、718Mの梱包物（取り付けの前に必ずご確認ください）

※ステッカーはフロントガラス・運転席および助手席の窓ガラスには貼らないでください。また、ステッカーの再発行はいたしません。

719Mの梱包物（取り付けの前に必ずご確認ください）

※ステッカーはフロントガラス・運転席および助手席の窓ガラスには貼らないでください。また、ステッカーの再発行はいたしません。

2段階衝撃センサー（独立感度調整可能）

P.26・27参照

窓ガラスを割られた場合など、車体に加えられる弱い衝撃と強い衝撃を自動判別して警告音またはサイレン音を鳴らして威嚇します。（警告モードとサイレンモードの独立感度調整が可能。）風などの揺れにはまったく反応せず、瞬間的に加わる衝撃あるいは衝撃波のみを検出できます。また、窓ガラスの破損時やタイヤ盗難などの連続した微振動を検出すると、警告音からサイレン音または即サイレン音を鳴らして威嚇できます。（設定により警告音の場合もあります。）

＊衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風など）により微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサーの特徴をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。
＊一般的に衝撃センサーで傷つけを防ぐことはできません。

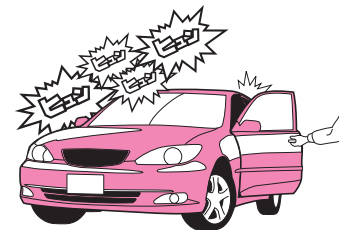
電流センサー

P.29・36参照

ドア、トランクが開けられるなどして、ルームランプが点灯した際に車両に流れる微小な電流変化をとらえて即サイレン音を鳴らします。

＊エンジンスターター、ターボタイマー、イモビライザー、オートスタビライザー、純正セキュリティ装着車の場合は電流センサーをOFFにする必要があります。
＊ドア、トランクスイッチが独立している一部車両では使用できない場合があります。
＊一部車種では電流センサーが使用できない場合があります。

ドアトリガー™（ドアセンサー）

電流変化によるドアのこじ開け検出以外にもドアトリガー配線（緑線）によってルームランプがOFFまたは破損している場合にも確実にドアの開閉を検出しサイレンを鳴らすことができます。

＊電源を取る以外にドアトリガー配線（緑線）が必要です。

センサー警戒開始時間（5秒／5分）選択可能（標準設定5秒）

P.38参照

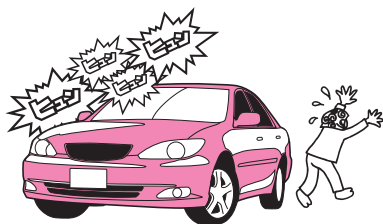
セキュリティシステムをONにしてから、各センサー（衝撃／電流センサー）が警戒を開始する間の時間を5秒と5分から選択できます。

128dB、6音色サイレン

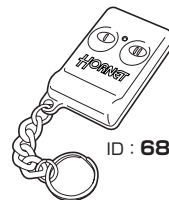
犯罪心理を研究し開発された6音色サイレンは業界最大の128デシベルの大音量で撃退効果は抜群です。

サイレン時間選択（標準設定30秒）

P.34参照

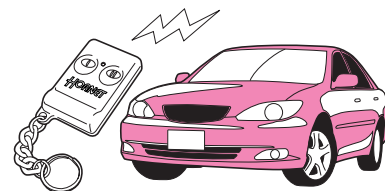
犯人撃退に必須のサイレン音は、音量120dB以上で長い時間サイレンを鳴らした方が防犯効果は高くなります。しかし、お客様の駐車環境によっては近所迷惑にもなりかねません。ホーネットMシリーズはこのような事情を考慮してサイレン時間を選択できるようになりました。リモコンによる機能設定によって30秒、15秒、10秒、5秒から選択ができます。

＊工場出荷時は30秒に設定されています。

デジタルリモコン（2個標準）（特許）

ホーネットのデジタルリモコンは687億通り以上のIDコードを持ち電波の混信による誤作動はありません。電波障害がなければ通常20〜30mの範囲で操作ができます。

＊増設には、メインユニットが必要になります。保証書またはユーザー登録がない場合には、増設をお断りする場合があります。
＊リモコン増設価格1個につき9,800円。最大4個まで設定可能。
消費税・送料および取付工賃は含まれておりません。
＊リモコン用電池：型式601M（1パック1個入り）標準価格￥500

コードホッピング®（特許）（標準設定ON）

P.46参照

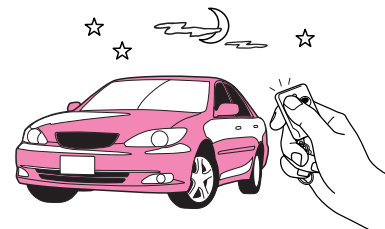
コードホッピング（IDコード盗難防止機能）によりリモコンのコードを特殊なプログラムによりランダムに変化させ一度使用したリモコンコードは2度と使用しないため、IDコードの盗難を完全に防止できます。

＊工場出荷時はONに設定されています。

クリックトーン™（動作確認音）（ON／OFF）

P.19参照

深夜の帰宅やホーネットの作動を周囲に気づかれたくないときなどにクリック音を出さずにホーネットのON／OFFができます。
また、リモコン設定により常時消音にすることもできます。（P.32参照）

＊工場出荷時はONに設定されています。

ホーネットの特長

コンビニモードTM

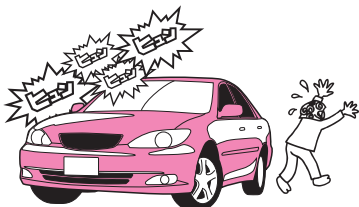
P.21参照

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコン操作で2段階衝撃センサーのみを一時的にスリープ状態にできます。2段階衝撃センサーを働かせたくない場合に便利な機能です。

※コンビニモードはホーネットをOFFにすると一緒に解除されます。

パニックモードTM

P.20参照

いざというとき、大きな声では叫べないもの。
でも、パニックモードならリモコン操作で強制的にサイレンを鳴らすことができます。リモコンボタンⅠを1.5秒以上押し続けることで強制的にサイレンを鳴らすことができます。

＊パニックモードのサイレンタイムはリモコンによる機能設定で選択された秒数サイレン音が鳴ります。
＊OFF時にパニックモードによりサイレン発報をさせた場合、音が鳴り終わった後セキュリティは作動中となります。

メモリー機能

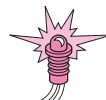
P.23参照

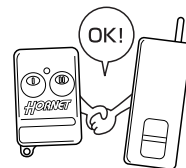
ホーネットの警報（サイレン音）が鳴った場合に警報停止後も警報が出たかどうかを記憶してレポートします。ホーネット解除時にクリックトーン（動作確認音）が通常2回から4回に変化して知らせてくれるので安心です。

＊警報の鳴った回数をレポートするものではありません。

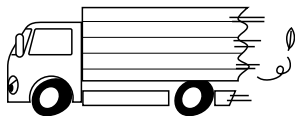
ダイアグノスティックTM機能（719Mのみ）

P.24参照

719Mにはダイアグノスティック機能（ゾーンID）が内蔵されており、センサーが異常を検出してサイレン音が鳴った場合にその原因をある程度特定することができます。LEDの点滅回数によって確認できます。

エンジンスターター、ターボタイマー作動時センサー使用可能

市販のエンジンスターター、ターボタイマーと同時に使用した場合にエンジン始動時および作動中は内蔵の2段階衝撃センサー、電流センサーはスリープモードとなり反応しませんがドアのこじ開け（ドアトリガー線の配線による）やその他いくつかのオプションセンサー（別売）が使用できます。これにより高度なセキュリティシステムとしてご利用いただけます。

●取り付けの際に黄線、緑線の配線をし、電流センサーOFF設定が必要です。
●717Mはエンジンスターターと併用できません。
※オプションセンサーを使用する場合は、ダイオードが必要です。

NR-Aノイズリダクション（特許）

ホーネットMシリーズは、NR-Aの採用によりトラック通過ノイズ等による連続微振動を大幅にキャンセルできるようになりました。また、強風などの揺れに反応しないため誤作動が大幅に低減されました。

＊すべてのトラックノイズを完全にキャンセルできるわけではありません。
＊バックファイヤー等の瞬間的な衝撃波ではNR-A機能は働きません。

ライトフラッシュ出力（－）

ホーネットMシリーズではホーネットのON/OFF時、警告時、サイレン時にクルマのスモールライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

＊車両の構造によっては、別途オプションのリレー（型式525T／標準価格￥4,500）が必要です。

車載物盗難保険（最高20万円）で2重の安心！

P.54参照

車載物盗難保険はカーナビ、カーオディオ、カーテレビ、無線機が万一盗難に遭った場合でも最高20万円の保険で保証されます。

●加入の前に同梱の保険申込書の内容を必ずお読みください。
●719Mでは初年度のみ保険料は必要ありません。
●ユーザー登録兼保険加入申込書（はがき）の投函が必要です。
●窓ガラス、キーシリンダーに破損を受け保険対象物が盗難に遭った場合に限り保険適用されます。
●車両保険との重複支払いはいたしません。
●ご不明な点または詳細は、保険加入申込書に記載の損害保険会社にお問い合わせください。

ホーネットの特長

ホーネットロゴステッカー　2枚付き

ホーネットのロゴステッカーが2枚付属しております。周囲にホーネット装着車であることを認識させることで、視覚的に犯罪を抑制する効果抜群です。
ホーネットステッカーならどんなクルマにも相性ピッタリ！

＊非売品のためステッカーの再発行等は一切しておりません。
＊ステッカーはフロントガラス・運転席助手席の窓ガラスには貼らないでください。
＊イラストのため実際の商品とは異なります。

低消費電流

ホーネットメインユニットの待機電流は業界最小の平均約6mA未満なので長期間の連続使用ができ安心です。

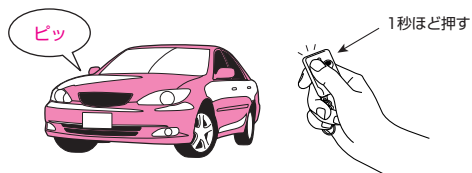
＊サイレンの発報時間やオプションの増設、その他電気製品の設置により、使用条件が変化する場合は、連続使用できる期間は異なります。

基本的な使い方

ホーネットを作動させる

① **エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。**

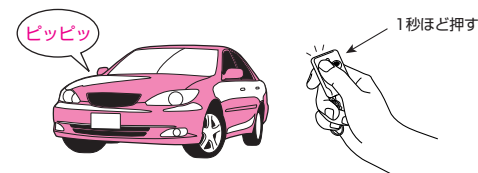
② **リモコンのボタンⅠを1回（1秒ほど）押してください。**

③ **システムが作動すると“ピッ”と1回動作確認音が鳴ってONしたことを知らせます。**

ホーネットを解除する

① **システム作動中に、リモコンのボタンⅠを1回（1秒ほど）押してください。**

② **サイレンが鳴っていなかった場合には確認音が2回“ピッピッ”と鳴って解除されます。**

＊サイレンが鳴った場合はメモリー機能により4回“ピッピッピッピッ”と鳴ります。

P.23参照

注意

- 機能設定でクリックトーン（動作確認音）をOFFに設定してある場合には作動の確認音は鳴りません。
- 最初にリモコンボタンⅡを押してからリモコンⅠを押した場合は消音機能が働き、クリックトーンが鳴らずにシステムがON/OFFされます。
- リモコンの飛距離は通常20m～30mですが、使用する環境により距離が変わることがあります。
- 操作を誤ってシステムをONのまま走行したり、システムを作動させたつもりでOFFになってしまうことがないように注意してください。
- 何らかの理由で、リモコンのスイッチが押された場合には、走行中であってもパニックモードによりサイレン音が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンにより解除してください。
  また、サイレンが鳴っている時にホーネットを解除する場合は、ハイセキュリティ解除機能が働くことをふまえて操作してください。

サイレンが鳴っている時にホーネットを解除する

① サイレンが鳴っている時に、リモコンのボタンⅠを1回（1秒ほど）押してください。

② サイレンが鳴っている時にはサイレン音のみが止まります。（ハイセキュリティ解除機能が働きます。）

P.22参照

③ 再度リモコンボタンⅠを1回（1秒ほど）押すと、警戒体制が解除され、同時に確認音が4回“ピッピッピッピッ”と鳴ります。

基本的な使い方

クリックトーン™消音機能

住宅密集地や夜間にご利用の場合システムの作動／解除の音を周囲に気付かれたくない時に便利な機能です。

① リモコンボタンⅡを1秒ほど押す。

5秒以内に次の操作をする

② づつけて、リモコンボタンⅠを1秒ほど押す。クリックトーン（動作確認音）を消してホーネットの作動／解除ができます。

＊機能設定の項目でクリックトーンの設定をOFFにすると、ON/OFF時のクリックトーンを常時、消すことができます。

②続けてリモコンボタンⅠを1秒ほど押して、作動／解除を行なう

注意

- ●リモコンボタンⅡをトランクオープナーなど、別の機器のコントロール用として設定した場合には消音機能との同時使用はできませんのでご注意ください。
- ●機能設定にてクリックトーン（動作確認音）をOFFに設定した場合にはこの消音機能は働きません。P.32の機能設定でクリックトーンの設定がONになっていることをご確認ください。

パニックモード™（強制サイレンON）

緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。

① リモコンのボタンⅠを、1.5秒以上押し続けます。

サイレンが鳴ります。

**② ホーネットはパニックモードとなり、サイレンが鳴り始めます。
サイレン音終了後はシステムはONになります。
サイレン音はリモコンにより設定した秒数鳴ります。**

機能設定項目2：P.34参照

③ サイレン音が鳴っている最中にリモコンボタンⅠを1秒ほど押すと、サイレン音のみが止まります。

**④ システムを解除したい場合には、リモコンボタンⅠを1秒ほど押してください。
確認音が2回“ピッピッ”と鳴りシステムが解除されます。**

※確認音が鳴らずにサイレン音のみ止まった場合は、再度リモコンボタンⅠを押してシステムを解除してください。

ハイセキュリティ解除機能：P.22参照

ヒント

- システムON時にパニックモードを使用すると、サイレン発報終了後システムがＯＮになります。ただし、サイレン発報中、ハイセキュリティ解除した場合はOFFになります。
- システムOFF時にパニックモードを使用すると、サイレン発報終了後、システムはONになります。

コンビニモード™

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合に便利な機能です。

① リモコンボタンⅠを1秒ほど押しシステムをON（作動）させます。

①リモコンボタンⅠを1秒ほど押す

5秒以内に次の操作をする

② リモコンボタンⅡを1回押す。（1秒以内）

②リモコンボタンⅡを一瞬押す

③ 確認音”ピッピューピュ”と鳴り、2段階衝撃センサーのみ働かなくなります。

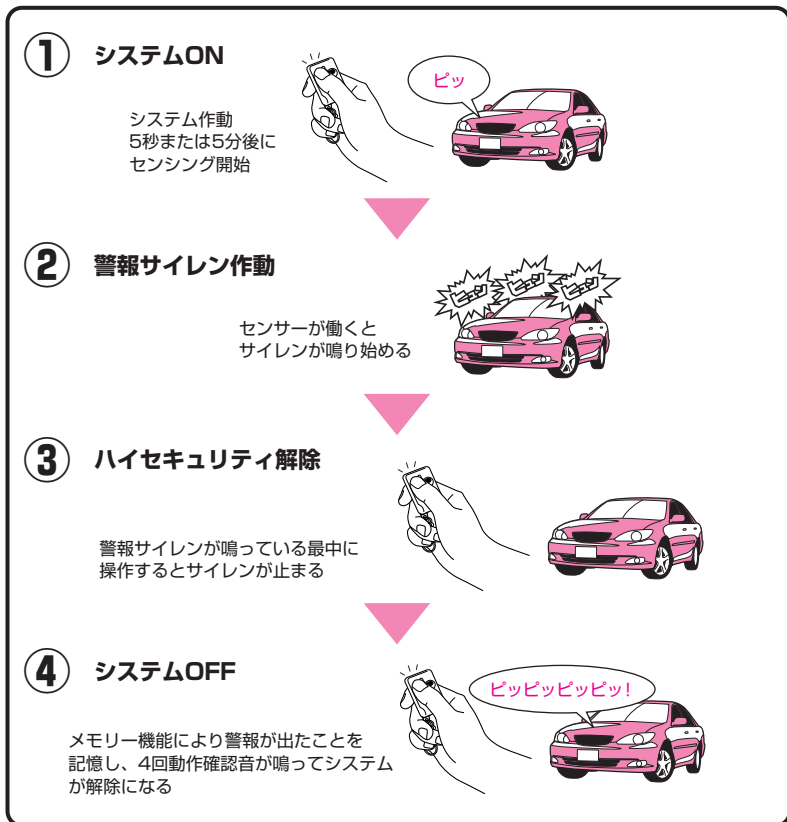
※コンビニモードの設定音は消去できません。

④ コンビニモードの解除は、システムをOFFにすると同時にコンビニモードも解除されます。

ヒント

- システムをOFFにした場合はコンビニモードが解除されます。
- コンビニモード設定後は、2段階衝撃センサーはスリープ状態になりますが、その他のセンサーは作動しています。

ハイセキュリティ解除™機能

ホーネットはハイセキュリティ解除機能により、安全にセキュリティシステムが利用できます。
警報音（サイレン）が鳴っている最中に警戒体制を解除せずに、警報音のみを止めることができます。システム自体が解除にならないため、セキュリティシステムを再度ONにする必要がありません。

メモリー機能

ホーネットはメモリー機能により、サイレンが発報したことを記憶できます。ホーネット解除時にクリックトーンが通常2回から4回に変化してサイレンが鳴ったことをレポートしてくれます。
さらに719Mでは、付属のLEDランプの点滅回数が変化して、どのセンサー系によってサイレンが鳴ったか確認できるため、とても便利です。

ダイアグノスティック機能：P.24参照

状態	レポート内容	動作確認音
システムON	正常に作動	ピッ
システムON	センサーが働いた状態でシステムが作動 （機能設定項目のセンサー作動中レポート音がONに設定されている場合のみ）	ピッ 約2〜3秒後 ピッ
システムOFF	正常に解除	ピッピッ
システムOFF	サイレン音が鳴ったことをレポート	ピッピッピッピッ

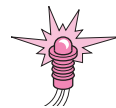
ヒント

●メモリー機能はシステムやセンサーの故障をレポートするものではありません。
●ホーネットを再度ONにするとメモリー機能はリセットされます。
●クルマのキーを差し込み、イグニッションをONにするとメモリー機能がリセットされます。

動作確認用LED（719Mのみ）

719Mに付属の高輝度LEDランプ623T（赤色）を接続すると、ホーネットの作動状態をランプの点滅により確認することができます。
また、サイレンが鳴ったときに点滅回数によってどのセンサー系が警報を出したかを確認できるダイアグノスティック機能（P.24）も内蔵されていますので、安心してご利用いただけます。

※717M、718Mには付属しておりません。取付不可。

【点滅パターン】
サイレンが鳴っていない状態では、システム作動中は約1秒間隔で点滅します。
システムを解除すると消灯します。

ダイアグノスティック™機能（719Mのみ）

719Mにはダイアグノスティック機能が内蔵されておりセンサーが異常を検出してサイレン音が鳴った場合にその原因をある程度特定することができます。システム作動中に数回サイレンが鳴った場合は一番最後に検出したセンサーを記憶し、LED点滅が変化します。これらはシステムを解除した時のLEDの点滅回数によって確認できます。

ダイアグノスティック		
LED点滅回数	サイレン発報内容	異常を検出したセンサー
0	発報なし	検出なし
1	オプションセンサーで発報	メインユニット青線に信号入力あり
2	2段階衝撃センサーで発報	メインユニット2段階衝撃センサーが検出
3	ドアが開けられて発報	ドアトリガー線（緑線）に信号入力あり
4	電流変化を検出して発報	メインユニット電流センサーが検出

719Mのダイアグノスティック機能

・ホーネット作動（ON）中にサイレン音が鳴った場合
　ホーネット解除後にダイアグノスティック機能が働きLED点滅が変化します。
・センサーが働いた状態（振動等）でホーネットが作動した場合
　ホーネット作動中にダイアグノスティック機能が働きLED点滅が変化します。

ダイアグノスティック機能のリセット

方法1：ホーネットを再度ON/OFFします。

方法2：キーでイグニッションをONの位置にします。

上記の方法でダイアグノスティック機能をリセットすることができます。

※センサーシャント線（黄線）をIG ONに接続されている必要があります。（方法2の場合）

注意

●ダイアグノスティック機能は、一番最後にサイレンを鳴らす原因になったものに対してレポートします。サイレン音が鳴ったすべての原因がわかるものではありません。
●エンジンスターター、ターボタイマー作動中にシステムを解除した場合は、ダイアグノスティック機能は働きません。
●強制解除した場合は、ダイアグノスティック機能は働きません。

エンジンスターター／ターボタイマー付き車両と併用する場合

【エンジンスターター／ターボタイマー装着車でホーネットと併用する場合】

ホーネットMシリーズは、エンジンスターターやターボタイマーと併用した場合でも配線によりドアのこじ開けやオプションセンサーが作動した際にサイレン音を鳴らすことができます。

注意

●車種により別売のダイオード（650T）またはドアトリガーユニット（655M）が必要となります。＊ダイオード2本は同梱しています。

●エンジン作動中でも別売のオプションセンサー（502T、506T、633M、520T）を使用したい場合は別売のダイオード（650T）またはドアトリガーユニット（655M）が必要となります。

●エンジンスターターやターボタイマーと併用するための配線を行なった場合は、エンジン始動時および作動中は内蔵の2段階衝撃センサー、電流センサー、メインハーネスの青線に接続したオプションセンサーはスリープモードとなり反応しませんが、エンジン停止後は約5秒後に自動復帰します。

●エンジンスターターやターボタイマーと併用するための配線を行なった場合は電流センサーをOFFに設定してください。配線によりドアのこじ開けの際はサイレン音が鳴ります。

●エンジンスターターやターボタイマーと併用するための配線をしない場合は、エンジン作動時にサイレン音が鳴ります。また、電流センサーをOFFに設定するとドアを開けてもサイレンが鳴らなくなりますのでご注意ください。

●エンジンスターターやターボタイマーと併用するための配線は、必ず車両電装に関する詳しい知識のある取付店にて行なってください。

●717Mは、エンジンスターターと併用できません。

内蔵センサーについて

2段階衝撃センサーについて

【2段階衝撃センサーとは】
メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーは車体への衝撃をキャッチし警告音またはサイレン音を発します。車体に強い衝撃が加わった場合には即サイレン音を発し、サイレンタイム設定時間あるいはリモコンによって解除されるまで鳴り続けます。弱い衝撃が加わった場合にはサイレン音は鳴らず警告音が数回鳴ります。717M、718M、719Mでは2段階衝撃センサーのそれぞれのモード（警告モード、サイレンモード）のセンサー感度を個別に調整可能です。（電流センサーとは独立して働きます。）リモコンで16段階の感度設定ができます。例えば、サイレンモードを0に設定すれば、サイレンを鳴らさないで警告音のみで威嚇することができるようになります。住宅密集地などで騒音が気になる方にお勧めです。
※クルマのボディ剛性、本体の取付場所や固定の仕方によって感度は変わってきます。
※クルマに見合った感度設定が必要になります。

【上手な感度設定の仕方】
●クルマを駐車している環境に応じて感度を設定する必要があります。
ここでは代表的な感度設定の例をご紹介します。

例１：微振動が発生する要素が多くある場合
・幹線道路の近くでトラックなどの往来がある
・バックファイヤーの激しいクルマが往来する
・飛行場などの近く
・工事現場や工場の近くなど

128dBの警告音のみで効果的に威嚇	
警告モード	0～5
サイレンモード	0

例２：犯罪防止のため必ずサイレン音を鳴らしたい
・サイレンが鳴っても特に問題ない環境

128dBの警告音とサイレン音で効果的に威嚇	
警告モード	9～16
サイレンモード	8

例３：閑静な住宅街であまりサイレン音は鳴らしたくない
・周りでは微振動は起きない
・強い衝撃ではサイレンを鳴らしたい

128dBの警告音とサイレン音で効果的に威嚇	
警告モード	16
サイレンモード	0～1

ヒント
●警告モードとサイレンモードの設定を10以上離すことで“ノイズリダクション”が効きやすくなります。

注意
●ホーネットは128dBの大音量で警告またはサイレンによる威嚇ができます。
●2段階衝撃センサーの感度は取付位置や取付向き、車両のボディ剛性によって大きく異なります。
●2段階衝撃センサーの感度を0に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するための電流センサーは独立して作動しています。ドアなどがこじ開けられた場合にサイレンが鳴ることを確認してください。
●2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。
●2段階衝撃センサーが0に設定していない場合、タイヤ盗難や窓ガラス割りを防ぐため連続した微振動を検出してサイレンが鳴るようにプログラムされていますので環境に応じて有効にご利用ください。

2段階衝撃センサー感度調整の方法

① リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。

警告モードの感度調整

② リモコンボタンⅠを1秒以上押してシステムをOFFにします。
5秒以内に③の操作をする

サイレンモードの感度調整

5秒以内に③の操作をする

③ 前の操作から5秒以内にリモコンのボタンⅡを1秒以上押し、感度調整モードに入ります。確認音“ピューピュ”が鳴れば、感度調整モードに入っています。5秒以上放置すると、感度調整モードを自動的に終了します。

感度を上げる場合（最大16）
リモコンのボタンⅡを押すたびに感度レベルの確認音“ピッピ”が鳴って1段階ずつ感度が上がります。
最大感度になると確認音“ピッピピュ－ピュ”が鳴って知らせてくれます。

⑤ 感度を下げる場合（最小 0）
リモコンのボタンⅠを押すたびに感度レベルの確認音“ピッ”が鳴って1段階ずつ感度が下がります。
最低感度になると確認音“ピッピュ－ピュ”が鳴って知らせてくれます。

注意

- ●2段階衝撃センサーの感度を0に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するための電流センサーは独立して作動しています。
  ドアなどがこじ開けられた場合にサイレンが鳴ることを確認してください。
- ●メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。
  テストの際はガラスやボディなどが破損しないように十分注意してください。
- ●2段階衝撃センサーの特徴として、弱い衝撃が連続して加わった場合はサイレン音が出るよう設定されています。幹線道路沿いなど、車通りの多い場所では連続した振動によりサイレン音が出ることがありますので2段階衝撃センサーの感度を下げてください。
  地震、雷、ひょう、航空機の爆音、自動車のバックファイヤーなど衝撃の要素は様々です。周囲の環境に応じて適切な感度にてご利用ください。
- ●工場出荷時はサイレンモード、警告モード共にレベル7設定です。

電流センサーについて

ホーネットメインユニット内蔵の電流センサーは車両のルームランプの点灯など一定以上の電流変化が発生した場合にサイレン音を鳴らします。

【電流センサーのテスト方法】

① クルマに乗ってすべてのドアを閉めます。

①リモコンボタンⅠを1秒ほど押して、ゆっくり5秒間カウントする

② リモコンボタンⅠを押してホーネットをONにします。そのまま何もせず、ゆっくり5秒間カウントしてください。

③ 5秒後、ドアを開けます。即サイレンが鳴ることを確認したらリモコンボタンⅠを押してサイレン音を止めます。
＊テストは必ず5秒経過後に行なってください。
＊センサー警戒開始時間を5分後に設定してある場合は5分経過してから行なってください。

②5秒後ドアを開けると、サイレンが鳴る

注意

- ●電流センサーの感度は固定されています。
- ●バッテリーが消耗して大きな電流変化が起きた場合はサイレン音が鳴る可能性があります。
- ●常に大きな電流変化のある車両（エンジンスターター、ターボタイマー、オートスタビライザー、イモビライザー等）は電流センサーが利用できません。機能設定項目3（P.36）にてOFFにしてください。この場合は、ドアトリガー線（緑線）の配線を行なってください。ドアトリガー線の配線によりドアのこじ開けに対応できます。この場合は、トランクのこじ開けに対応するためにはトランクのスイッチに配線する必要があります。
- ●ルームランプが切れていたり、ドアを開けたときに点灯しない場合は電流センサーは反応しません。
- ●工場出荷時は、電流センサーON、電流センサー開始時間5秒に設定されています。

機能設定項目について

■機能設定項目一覧表

項目番号	設定項目	詳細ページ	ボタンⅠ（標準設定）確認音“ピッ”※1	ボタンⅡ 確認音“ピッピッ”※1
1	クリックトーン（動作確認音）	P.32	ON	OFF
2	サイレンタイムの選択	P.34	30秒	5秒/10秒/15秒 ※2
3	電流センサー　ON／OFF	P.36	ON	OFF
4	センサー警戒開始時間	P.38	5秒後	5分後
5	センサーレポート音	P.40	ON	OFF
6	2段階衝撃センサーフルサイレン	P.42	ON サイレン&警告音	OFF 警告音のみ
7	NR-Aノイズリダクション	P.44	ON 警告音（断続）※3	OFF 警告音からサイレン
8	コードホッピング®	P.46	ON	OFF

※1　動作確認LEDを使用した場合に、ボタンⅠでは点灯、ボタンⅡでは点滅して設定状況の確認ができます。
※2　確認音はリモコンのボタンⅡを押すたびに　5秒＝2回、10秒＝3回、15秒＝4回に変化します。
※3　サイレンモードを5以下に設定してください。
警告モードとサイレンモードの設定幅が10以下の場合はノイズリダクション機能が働きづらくなります。

〔項目番号1〕クリックトーン™（動作確認音） P.32参照

ホーネットのON、OFF時にクリックトーンが鳴って作動、解除の確認ができます。住宅密集地や、夜間のご利用の際には、クリックトーンを消すこともできるので便利です。

〔項目番号2〕サイレンタイム（警報時間） P.34参照

リモコンによる機能設定によってサイレン音の鳴る時間の選択ができます。
5秒、10秒、15秒、30秒からサイレン音の鳴る時間を設定できます。

〔項目番号3〕電流センサー　ON／OFF P.36参照

電流変化が頻繁に起こる車両など電流センサーが利用できない場合にはOFFに設定して、ドアトリガー配線によりドアのこじ開けに対応してください。

〔項目番号4〕センサーの警戒開始時間（2段階衝撃センサー、電流センサー） P.38参照

ホーネット内蔵のセンサーの警戒開始時間を選択できます。

〔項目番号5〕センサーレポート音 P.40参照

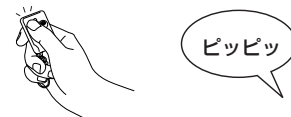
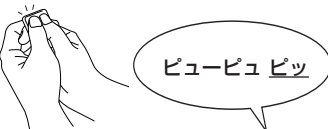
センサーが働いた状態でホーネットがONになったことをレポートしてくれます。
半ドアの状態などのレポートにも便利です。

〔項目番号6〕2段階衝撃センサーフルサイレン P.42参照

2段階衝撃センサーのサイレンモードを1以上に設定している場合でもこの設定をOFFにすれば、警告音のみで威嚇できるようになります。
駐車環境によっては、サイレン感度を一定に保ったまま、警告音のみで警戒したい場合に便利です。

〔項目番号7〕NR-Aノイズリダクションシステム P.44参照

トラックノイズなど連続した微振動を検出した場合には警告音またはサイレン音で威嚇します。ただし、バックファイヤーなどの衝撃波や瞬間的な衝撃にはサイレン音を鳴らします。
警告音（断続して鳴ることがあります）に設定する場合は、サイレンモードを5以下に設定してください。警告モードとサイレンモードの設定幅が10以下の場合はノイズリダクション機能が働きづらくなります。

〔項目番号8〕コードホッピング® P.46参照

リモコンのID番号をランダムに発信し、一度利用したコードは2度と使用しないため、万一、リモコンコードをコピーされた場合でもホーネットの不法なコントロールはできません。

機能設定項目1　クリックトーン™ ON／OFF

【クリックトーン ON／OFF】標準設定 ON
システムの作動と解除のクリックトーン（動作確認音）を常時消したい場合に便利です。

操作方法

① **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。**

確認音：ピッ

5秒以内に次の操作をする

② **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをOFFにします。**

確認音：ピッピッ

5秒以内に次の操作をする

③ **次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。**

確認音がするまでリモコンを押します。

ピューピュ ピッ

1回目の確認音：ピューピュピッ

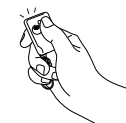
5秒以内に次の操作をする

④ **クリックトーンをONに設定したい場合**

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

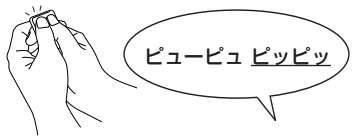
クリックトーンをOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッピッ

リモコン操作はしません

⑤ **約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。**

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。
- 5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。
- 工場出荷時は、クリックトーンONに設定されています。

機能設定項目2　サイレンタイムの選択

【サイレン音の時間選択】標準設定 30秒
サイレン音の鳴る時間を　5秒、10秒、15秒、30秒から選択できます。

操作方法

① **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。**

確認音：ピッ

5秒以内に次の操作をする

② **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをOFFにします。**

確認音：ピッピッ

5秒以内に次の操作をする

③ **次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。**
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

ピューピュ ピッピッ

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、2回目のピューピュピッピッまで移ります。

1回目の確認音：ピューピュピッ

2回目の確認音：ピューピュピッピッ

5秒以内に次の操作をする

サイレンタイムを30秒に設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

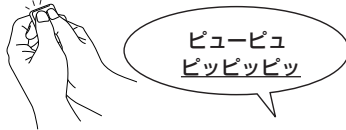
確認音：ピッ

サイレンタイムを変更したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押すたびに、5秒、10秒、15秒を繰り返します。

確認音　ピッピッ（5秒）
ピッピッピッ（10秒）
ピッピッピッピッ（15秒）

リモコン操作はしません

⑤ **約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。**

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。
- 5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。
- 工場出荷時は、サイレンタイムは30秒に設定されています。

機能設定項目3　電流センサー ON／OFF

【電流センサー ON／OFF】標準設定 ON
電流センサーを使用するか、しないかを選択できます。

操作方法

① リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。

確認音：ピッ

5秒以内に次の操作をする

② リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

5秒以内に次の操作をする

③ 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、3回目のピューピュ<u>ピッピッピッ</u>まで移ります。

ピューピュ
<u>ピッピッピッ</u>

1回目の確認音：ピューピュ<u>ピッ</u>
2回目の確認音：ピューピュ<u>ピッピッ</u>

3回目の確認音：ピューピュ<u>ピッピッピッ</u>

5秒以内に次の操作をする

④ <u>電流センサーをONに設定したい場合</u>

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

<u>電流センサーをOFFに設定したい場合</u>

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音　ピッピッ

リモコン操作はしません

⑤ 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。
- 5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。
- 工場出荷時は、電流センサーはONに設定されています。

機能設定項目4　センサー警戒開始時間選択

【センサー警戒開始時間 5秒／5分】標準設定 5秒
メインユニット内蔵センサーの2段階衝撃センサーと電流センサーの警戒開始時間を5秒または5分に設定します。

操作方法

① リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。

確認音：ピッ

5秒以内に次の操作をする

② リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

5秒以内に次の操作をする

③ 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、4回目のピューピュ<u>ピッピッピッピッ</u>まで移ります。

ピューピュ
<u>ピッピッピッピッ</u>

1回目の確認音：ピューピュ<u>ピッ</u>
2回目の確認音：ピューピュ<u>ピッピッ</u>

4回目の確認音：ピューピュ<u>ピッピッピッピッ</u>

5秒以内に次の操作をする

④ <u>センサー警戒開始時間を5秒に設定したい場合</u>

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

<u>センサー警戒開始時間を5分に設定したい場合</u>

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音　ピッピッ

リモコン操作はしません

⑤ 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。
- 5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。
- 工場出荷時は、センサー警戒開始時間は5秒に設定されています。

機能設定項目5　センサーレポート音

【センサーレポート音 ON／OFF】標準設定 ON
各種センサーが作動した状態でホーネットがONになった場合に、センサーが作動していることをレポートします。半ドアのチェックなどにも便利な機能です。

操作方法

① **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。**

確認音：ピッ

5秒以内に次の操作をする

② **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをOFFにします。**

確認音：ピッピッ

5秒以内に次の操作をする

③ **次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。**
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、5回目のピューピュピッピッピッピッピッまで移ります。

1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

5回目の確認音：ピューピュピッピッピッピッピッ

5秒以内に次の操作をする

センサーレポート音をONに設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

センサーレポート音をOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音　ピッピッ

リモコン操作はしません

⑤ **約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。**

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- ●各操作は5秒以内に行なってください。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- ●項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。
- ●5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。
- ●工場出荷時は、センサーレポート音はONに設定されています。

機能設定項目6　2段階衝撃センサーフルサイレン

【2段階衝撃センサーフルサイレン ON／OFF】標準設定 ON

サイレンモードの設定ににかかわらず、警告音のみで警戒をする場合にはOFFに設定します。

操作方法

① **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。**

確認音：ピッ

5秒以内に次の操作をする

② **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをOFFにします。**

確認音：ピッピッ

5秒以内に次の操作をする

③ **次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。**

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、6回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

ピューピュ
ピッピッピッピッ
ピッピッ

6回目の確認音：ピューピュピッピッピッピッピッピッ

5秒以内に次の操作をする

④ **2段階衝撃センサーフルサイレンをONに設定したい場合**

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

2段階衝撃センサーフルサイレンをOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音　ピッピッ

リモコン操作はしません

⑤ **約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。**

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。
- 5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。
- 工場出荷時は、2段階衝撃センサーフルサイレンONに設定されています。

機能設定項目7　NR-Aノイズリダクションシステム（特許）

【NR-Aノイズリダクションシステム ON/OFF】標準設定 ON

トラックノイズなどの連続微振動に対してサイレンを鳴らさずに警告音のみで警戒をします。

操作方法

① リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。

確認音：ピッ

5秒以内に次の操作をする

② リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをOFFにします。

確認音：ピッピッ

5秒以内に次の操作をする

③ 次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、7回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

ピューピュ
ピッピッピッピッ
ピッピッピッ

7回目の確認音：ピューピュピッピッピッピッピッピッピッ

5秒以内に次の操作をする

④ NR-AをONに設定したい場合

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

NR-AをOFFに設定したい場合

リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音　ピッピッ

リモコン操作はしません

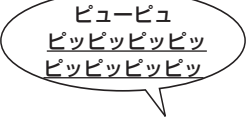
⑤ 約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。

確認音：ピッピューピュ

ヒント

- 各操作は5秒以内に行なってください。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。
- 5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。
- 工場出荷時は、NR-AノイズリダクションシステムはONに設定されています。

機能設定項目8　コードホッピング®（特許）

【コードホッピング® ON／OFF】標準設定 ON
リモコンのID番号をランダムに変化させて、二度と同じIDを使用しないので、IDコードの盗難ができなくなります。

操作方法

① **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをONにします。**

確認音：ピッ

5秒以内に次の操作をする

② **リモコンボタンⅠを1秒ほど押してシステムをOFFにします。**

確認音：ピッピッ

5秒以内に次の操作をする

③ **次に項目変更操作をし、選択したい項目に移ります。**
リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押すたびに、確認音が鳴り、次の設定項目に移ります。

リモコンボタンⅠ、Ⅱを同時に3秒以上押し、8回目の確認音が鳴るまで繰り返します。

1回目の確認音：ピューピュピッ
2回目の確認音：ピューピュピッピッ

ピューピュ
ピッピッピッピッ
ピッピッピッピッ

8回目の確認音：ピューピュピッピッピッピッピッピッピッピッ

5秒以内に次の操作をする

④ **コードホッピング®をONに設定したい場合**

リモコンボタンⅠを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音：ピッ

コードホッピング®をOFFに設定したい場合

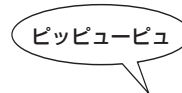
リモコンボタンⅡを5秒以内に1秒ほど押します。

確認音　ピッピッ

リモコン操作はしません

⑤ **約5秒後、終了の確認音が鳴り設定を完了します。**

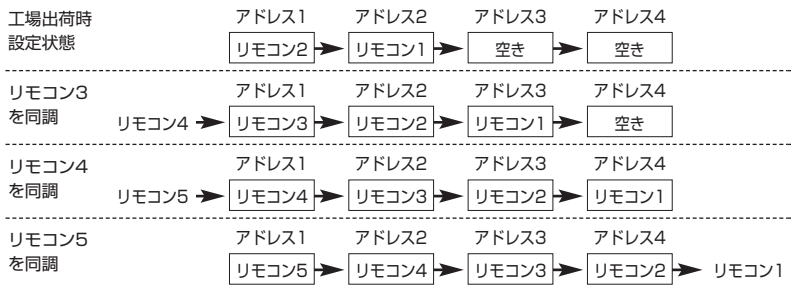
確認音：ピッピューピュ

ヒント

- ●各操作は5秒以内に行なってください。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- ●項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。
  項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。
- ●5秒以上操作がない場合には確認音「ピッピューピュ」が鳴って設定を終了します。
- ●工場出荷時は、コードホッピング®はONに設定されています。

リモコンの同調と登録（特許）

【リモコンの同調と登録について】
ホーネットMシリーズのリモコンは687億通りのすべて異なるIDコードを使用しています。このため、お客さまが新たにリモコンを増設した場合には、リモコンのIDコードの同調を行ない、ホーネットの各メモリーアドレスに登録する必要があります。
IDコードのメモリーは最大4個までです。
取付時にリモコンが反応しない場合は、以下の方法でリモコンの同調を行なってください。
不正に同調が行なわれることを避けるため、全てのメモリーアドレスをご使用のリモコンで埋めてください。

《同調の手順》

①ホーネットの電源線（赤線）のヒューズを抜き、10秒ほど待ちます。
②電源線（赤線）のヒューズを差し込みます。
③5秒以内に、リモコンのボタンⅠを押し続けます。
④確認音「ピッ」が鳴ったらボタンを離し、再度リモコンのボタンⅠを押し続けます。
⑤確認音「ピッピッ」が鳴ったらボタンを離し再度リモコンのボタンⅠを押し続けます。
⑥確認音「ピューピュ」が鳴ったらボタンを離します。
⑦約5秒後に、同調完了（自己診断）の確認音「ピッ　ピューピュ」が鳴ります。
⑧同調終了です。
※それぞれの手順が5秒以内に行なわれない場合は、同調されないまま設定を終了します。
　その場合は最初からやり直してください。

リモコン5を登録すると、最初に同調をしたリモコン1が追い出されます。

必ず行なってください

注意

●電源線（赤線）のヒューズを抜いても、完全に電源供給が遮断されていない場合があります。その場合は、電源線（赤線）のヒューズを抜く変わりにメインユニットの白コネクタを外し確実に電源供給を止めてください。
●5個目のリモコンを設定した場合には、最初に設定されていたリモコンのIDコードが押し出されます。
●増設は最大4個までですが、同じリモコンコードをすべてのアドレスに登録することができます。
●不正に同調が行なわれていることが心配な場合には、同じリモコンで再度上記の操作を行ない、すべてのメモリーアドレスを埋めてください。第三者のリモコンでは、ホーネットのコントロールができなくなり、より安心してご利用いただけます。
●それぞれの手順が5秒以内に行なわれない場合は、同調されないまま設定を終了します。

必ず行なってください

メインユニットのチェック方法

メインユニットの取り付け、配線が終了したら、本体の機能チェックを行なってください。
テスト手順は次の通りです。

1：オン、オフの確認

□エンジンを停止し、すべてのドア、トランクを閉めてください。
□リモコンのボタンⅠを1秒ほど押して、確認音が1回鳴る（システムONする）ことを確認してください。
□次に同じボタンⅠをもう一度1秒ほど押した時、確認音が2回鳴る(システムOFFする)ことを確認してください。

システム状態／OFF

2：電流センサーの確認

□上記1に従い、システムをONしてください。
□確認音が1回（ピッ）と鳴ってから、5秒以上待ちます。（センサー警戒開始時間5秒に設定の場合）
□ドア、トランクを開けたとき、即サイレンが鳴ることを確認してください。
□リモコンのボタンⅠを1秒ほど押してハイセキュリティ解除（P.22参照）をしてください。

システム状態／ON

3：2段階衝撃センサーの確認

□ハイセキュリティ解除後、5秒以上待ちます。(センサー警戒開始時間5秒に設定の場合)
□げんこつでフロントガラスを軽く叩いてみてください。この時、警告音（ピッピッピッ…）が7から9回ほど鳴ることを確認してください。
（感度が高すぎると即警報サイレンが鳴りますので、ご希望に応じて感度を調整してください。P.27参照）

システム状態／ON

4：メモリー機能確認

□リモコンのボタンⅠによりシステム解除した際に、解除音が4回（ピッピッピッピッ）と鳴ることを確認してください。

システム状態／OFF

5：パニックモードの確認

□リモコンのボタンⅠを1.5秒以上押したとき、サイレンが鳴り出すことを確認してください。
□リモコンのボタンⅠをもう一度1秒ほど押してハイセキュリティ解除をしてください。
□次に同じボタンⅠを1秒ほど押した時、確認音が2回鳴る（システムOFFする）ことを確認してください。

システム状態／OFF

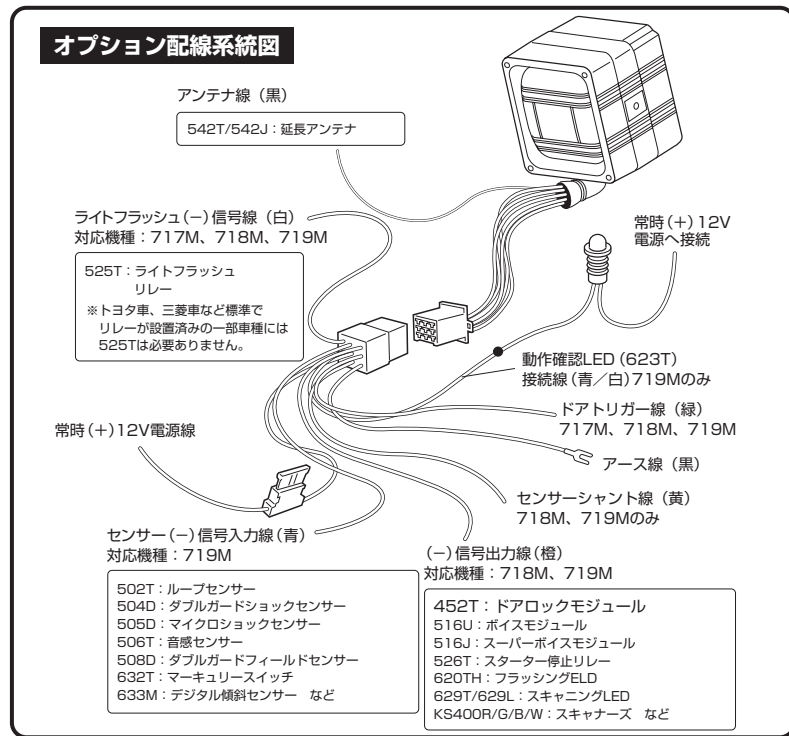
必ずお読みください

●上記により数回確認を行なった結果、『故障かな？』と思ったら、P.52の「故障かな？と思ったら」に従ってトラブルシュートを行なってください。ホーネットは出荷時に全品正常に作動することを確認しています。
※テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。

故障かな？と思ったら

症状と原因	対策
☆勝手にサイレンが鳴る	
・メインユニットの固定が不十分	確実に固定してください。
・電源線の接触不良	電源線を確実に接続してください
・各センサーの感度が高すぎる	センサーの感度を絞ってください。
・電流変化が起きている	電流センサーをOFFにし、ドアトリガー線の配線を行なってください。
・バッテリーが弱っている	新しいバッテリーに交換してください。
・衝撃センサーの感度が強すぎる	感度を絞ってください。
例えば：携帯電話の電源を取っている。その他の電気機器を使用している。オートスタビライザー付の車両の場合等で車両の電流変化が起きている場合は電流センサーを使用することができません。	
☆リモコンが利かない・・・リモコンのLEDの点滅である程度判断できます。	
・同調がずれている	再度リモコンの同調をしてください。 （お買い求めの販売店に調整を依頼してください。） ＊メインユニットの電源を何度か投入した場合に電源ノイズによりリモコンの同調がずれることがあります。
・ラジオ局など無線局が近くにある	車の近くに寄って操作してください。
・アンテナ線を金属部に接続している	アンテナ線の固定箇所を変えてください。
・リモコンの電池がない	新しい電池に交換してください。
・リモコンの電池の接触不良	電池を入れ直してください。
・バッテリーが弱っている	新しいバッテリーに交換してください。
・水の浸入があった	お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。 ＊水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。
☆ドアを開けてもサイレンが鳴らない	
・ONしてから5秒以上待っていない	“ピッ”と鳴ってから5秒以上待ってください。
・ルームランプがOFFになっている	ルームランプスイッチを"Door"にしてください。
・ルームランプが切れている	ルームランプを交換してください。
・電流変化が小さい	ドアトリガー線を使用してください。
・ドアトリガー線の接続不良	ドアトリガー線を確実に配線してください。
☆叩いてもサイレンが鳴らない	
・作動音がしてから5秒以上待っていない	“ピッ”と鳴ってから5秒以上待ってください。
・コンビニモードになっている	再度ホーネットをONにしてください。
・車体を揺らしている	揺れには反応しません。
・感度が低すぎる	感度を上げてください。
・メインユニットの固定位置が最適でない	説明書通りに固定してください。
・黄色線を常時電源に接続している	黄色線は必ずIG線に接続してください。
☆オプションセンサーが働かない	
・作動音がしてから5秒以上待っていない	“ピッ”と鳴ってから5秒以上待ってください。
・感度が低すぎる	感度を上げてください。
・テスト方法が違っている	各センサーに最適なテスト方法でテストしてください。 (オプション付属の説明書参照)
・黄色線を常時電源に接続している	黄色線は必ずIG ONで+12Vが供給される線に接続してください。

上記のテストを行なっても、正しく作動しない場合など、詳しくはお買い求めの販売取付店またはカスタマーセンターまでお尋ねください。

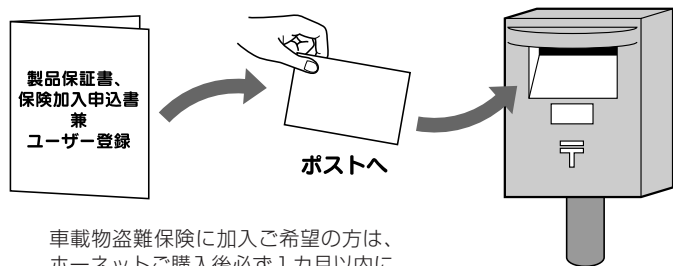
ホーネット717M、718M、719Mには下記のように様々なオプションを接続することで、あなただけのシステムをつくることができます。必要に応じてセンサー類、キーレスエントリー、リモコントランクオープナー、ボイスモジュールなどの設置によりホーネットを中心に高度なシステムを構築できます。

注意

- ●オプションのみでは自動車盗難防止装置として機能しません。
- ●ご使用の際は必ず接続可能なメインユニットと合わせてお買い求めください。
- ●オプションを取り付ける際には車両電装に関する知識が必要となりますので、必ずお買い求めの取付販売店に取り付けを依頼してください。
- ●知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても弊社では一切責任を負いかねます。
- ●オプションについての詳細は、ホーネット総合カタログをご覧ください。

ホーネット車載物盗難保険について

加入の前に必ず同梱の保険申込書の内容をお読みください。

■保険対象物 カーオディオ全般、カーテレビ、カーナビ（外付けアンテナは除く）、無線機
■保険金額 20万円を上限とし、時価額でお支払い致します。（保険会社査定による）
■保険期間 申し込みはがきが確認された月の翌月1日午後4時から1年間
■保険概要 窓ガラスまたはキーシリンダーに破損を受け、保険対象物が盗難にあった場合に限り、保険金をお支払いいたします。（破損部分の損害に関しては免責です。）
■年間保険料 2,000円 （717Mと718Mには保険料の振り込みが必要です。）

※ユーザー登録兼保険加入申込書（はがき）は購入後1ヶ月以内に所定の手続きに従ってご記入、ご捺印の上ご投函ください。（お客様控えは製品保証書も兼ねていますので大切に保管してください。）
※車載物盗難保険に加入する場合は必ず申込書の「加入します」と保険対象物にチェックをしてから投函してください。チェックが無い場合は無効となります。
※717Mと718Mでは年間保険料2,000円の振り込みが必要です。
※719Mは初年度のみ保険料は無料となります。
※車両保険との重複支払はいたしません。

車載物盗難保険に加入ご希望の方は、ホーネットご購入後必ず１カ月以内に同梱の保険加入申込はがき（ユーザー登録兼保険申込書）をお送りください。

必ずお読みください

●車載物盗難保険はユーザー登録兼保険加入申込書が返送されていない場合や申込書の「加入します」にチェック、保険対象物にチェックがされていない場合には無効になります。1ヶ月以降に投函されたものに関しても無効とさせていただきますのでご了承ください。また、車載物の盗難、車両盗難などが万一発生しても、弊社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。車載物盗難保険のご不明な点または詳細につきましては、保険登録はがきに記載の損害保険会社までお問い合わせください。
●同梱のはがきは製品保証書も兼ねていますので大切に保管してください。

アフターサービスについて

アフターサービスついて

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社無料修理規定に基づき修理いたします。
本機の保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証期間経過後は、修理によって本機の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。本機の補修用性能部品は製造打切り後、最低6年間保存しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

商品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受取りの上、大切に保存してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
シリアル番号（ID番号）は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。
お客様の安全管理、アフターサービスのため、メインユニットのシリアル番号（ID番号）の登録は必ずユーザー登録カード（はがき）により郵送にて行なってください。（FAX不可）
また、ユーザー登録がされてない場合にはサポートが受けられない場合がありますのであらかじめご了承ください。同梱のはがきは製品保証書、ユーザー登録、保険加入申込書を兼ねていますが保険加入を希望しない場合にも「ユーザー登録兼保険加入申込書」の返送をおこなってください。
車載物盗難保険を希望されない場合は「加入しない」にチェックをしてから投函してください。

修理をご依頼の前に

説明書に記載の「故障かな？と思ったら」（P.52）を参考にして、故障かどうかを確認してください。
故障とお考えの前にお買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご相談ください。
使用上の誤りや、不当な修理や改造による故障および損傷で修理サービスを依頼されますと、保証期間中であっても有料となります。新たにシリアル番号を発行した場合には保証期間中であっても有料修理扱いとなります。
・万一、故障が生じたときは、ホーネット取扱店またはお買い上げの販売店に依頼してください。
・お近くに取扱店がない場合はホーネットカスタマーセンターにご相談ください。
・修理を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
・弊社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行なっておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼されるときは

次の事項を確認して、お買い上げの販売店またはホーネット取扱店にご依頼ください。
1　型式名、型番号、シリアル番号
　　（例：ホーネット719M　５０１２２０４３２１）
2　故障の内容
　　（どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか・時々かなど）
3　お買い上げ年月日
4　お買い上げ店名
5　お名前、住所、連絡先電話番号

1：本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償保証致します。

2：本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口に直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担にてお願い申し上げます。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外となります。

3：製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。

4：ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には当社修理窓口まで製品をお送りください。

5：保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
- 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
- 不当な修理、改造による故障および損傷
- お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
- 火災、地震、水害、落雷ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
- 自動車事故により発生した故障および損傷
- 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
- リモコン増設の場合
- 保証書のご提示がない場合または保証書記載内容に不備のある場合
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
- 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合

6：保証規定は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）

●販売店の方へ
この保証はお客様へのアフタサービスの実施と責任を明確にするためのものです。
ただし、販売店で個別に保証書を発行する場合にはこの限りではありません。
この保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
（この期間は通商産業省の指導によるものです。）

製造発売元
KATO-DENKI
加藤電機株式会社
〒475-8574　愛知県半田市花園町6-28-10

●ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI
加藤電機株式会社

ホーネットカスタマーセンター

TEL03-5697-7341
FAX0569-26-0089
hornet@kato-denki.jp

営業時間　月～金　10:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始等は除く）

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますのであらかじめご準備ください。